

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 肝臓疾患の複合糖質関連疾患マーカーの有用性検証

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 坂本 直哉 (消化器内科・教授)

[研究の目的] 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の診断方法を開発するため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

非アルコール性脂肪肝、非アルコール性脂肪性肝炎、肝硬変、B 型肝炎、C 型肝炎、アルコール性脂肪性肝炎、自己免疫性肝炎の患者さんで、平成 16 年 4 月から平成 28 年 9 月の間に研究用の血液・肝組織の保管に同意された方

○利用する検体・カルテ情報

検体：血液、肝組織

カルテ情報：性別、生年月日、採血時年齢、人種、身長、体重、BMI、合併症、既往歴、現病歴、高血圧・糖尿病・脂質異常症等の前治療歴、ビタミン E・ウルソなどの投与薬剤、Performance Status(ECOG (Eastern Cooperative Oncology Group)による分類)、疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板、総蛋白質、アルブミン、総ビリルビン、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、LDH、ALT、AST、ALP、 γ -GTP、Mac-2 結合蛋白質糖鎖修飾異性体、NEUT、Fib-4、CHE、AFP、FBS、Insulin、HOMA-IR、HbA1c、Cho、TG、HDL、LDL、フェリチン、P3P、4-7s、ヒアルロン酸、IGF-1、ANA、M、M2、腹部超音波検査、CT、肝生検所見、NAS、Fibroscan、Brunt grade、Brunt stage、Fibrosis、Matteoni 分類 4 の診断に用いるマロリー小体と線維化

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 小川 浩司

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7867